



西田三十五県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

佐倉市民の声を生かした県政改革

佐倉市特集 2月県議会予算委員会



予算委員会で国体ブレザーで質疑をする西田三十五県議

歴史と文化が息づくふるさと佐倉市のために、県議会最大政党・自民党の県連ニューリーダーとして県政改革を進める西田三十五(にした・さんご)県議は、佐倉市選挙区選出・2期目。市民の声や要望を県政に生かして活動しています。

文教問題に精通している西田県議は、2期目で文教常任委員会委員長に就任、県民・県議の多くの意見を聞き、県民のために有意義で円滑な委員会運営に政治手腕を発揮して、注目されています。

平成20年度の新年度予算を審議する大事な2月県議会予算委員会では質疑を行いました。平成22年度に千葉県内各地で開催される「ゆめ半島千葉国体」の成功に向けて、開催準備、競技力向上のための予算、選手の宿泊施設などについて県側の姿勢を質しました。

千葉県の魅力を全国にアピール

西田 千葉で国体(国民体育大会)ゆめ半島千葉国体が開催される意義は何か。国体・全国障害者スポーツ大会(以下同局)局長 競技力の向上はもちろんのこと、県民のスポーツに対する関心が高まり、千葉県のスポーツ振興に大きく貢献するものと考えています。

また、健康づくりの意識の高まり、一流選手のプレーを間近に見て感動を呼び、向上心を育成するなど次代を担う子供たちの多くの教育効果をもたらすことが期待されます。

さらに、期間中は全国各地から来県することから、観光地や特産物、伝統文化など千葉県の多様な魅力を全国にアピールする絶好の機会と考えています。

開閉会式の計画 具体的に策定へ

西田 来年度のゆめ半島千葉国体の開催準備は、何を重点に行うのか。

同局長 平成20年度は開催2年前となるため、一層具体的な準備を進めていきま

西田三十五県議プロフィール

経歴

- 昭和39年10月 佐倉市生まれ
- 昭和63年3月 拓殖大学政経学部卒業
- 平成3年4月 佐倉市議会初当選(3期連続当選)
- 平成15年4月 文教福祉常任委員会委員長、経済環境常任委員会委員長、県議会議員初当選(2期連続当選)

現職

- 県議会 文教常任委員会委員長
- 自民党千葉県連 広報本部 情報局長、総務委員会委員
- ちば自民党青年局 幹事長、街頭行動実行委員長

要望 西田 厳しい予算の中、有効に活用して素晴らしい国体にしていただきたい。

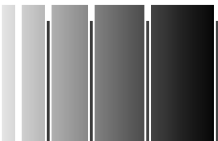
さらに、選手、監督等の宿泊について、会場となる市町を中心に広域的な配宿を合理的に行うため、市町と合同で配宿業務を委託して実施することとしています。これらの準備を着実に進めていきます。

これまで競技団体に助成して審判員等の役員養成を行ってきましたが、20年度からは運営員の養成についても助成して行うことにしています。

また、市町の競技施設は改修が必要な25施設のうち19施設の整備に対して補助します。

開閉会式は運営や演出など具体的な内容を検討し、実施計画を策定します。

●県政や佐倉市のご相談、ご要望をお寄せ下さい



西田三十五 県議事務所

〒285-0837 佐倉市王子台6-1-8

TEL 043-489-2312

FAX 043-489-2401

平成22年「ゆめ半島千葉国体」

千葉マリン生かした開会式検討



2月県議会予算委員会。県議会議場で質疑を行う西田三十五県議

選手強化予算は当初1億8千万

西田 ゆめ半島千葉国体に向けた千葉県選手の競技力向上のための予算の状況はどうか。

て、開催県として誇りの持てる成績を収めることは、地元国体の成功には欠かせません。

具体的には、千葉国体で中心となつて活躍する高校生や中学生を対象として「チームちばジュニア強化事業」や本県選手全体のレベルアップを図る「国体選手強化・サポート事業」などを重点的に展開していきたいと考えています。

宿泊施設は競技施設の近くに――

西田 県選手だけでなく全国各地から集まる選手の負担を軽減するためにも、宿泊施設は競技施設のなるべく近くに確保する必要があると思うが、県はどのような対策を講じるのか。

同局施設調整課長 昨年度、宿泊基礎調査を実施したところ、宿泊施設数は県全体では充足するものの、広域配宿が必要な市町が24と全体の8割という状況となっています。



視察に参加した西田三十五県議

このため、実行委員会に設置された宿泊部会において、合同配宿実施方針案がとりまとめられ、県と会場地市町とが合同で宿泊施設の確保と調整を行うこととしています。

具体的には、平成20年度に宿泊施設の実態調査と客室確保を行うとともに、合同配宿システムを作成し、

周辺市町や関係団体等の協

山岳は印西市に馬術は勝浦開催

西田 これまで開催地未決定であった競技の状況と県外での開催あるのかどうか伺いたい。

同局競技式典課長 平成19年7月の千葉国体の正式決定時に、開催地が未決定であった競技は、山岳競技と馬術競技の2競技です。

山岳競技については昨年12月に印西市の松山下公園で開催することが正式決定され、現在、会場の整備や役員編成などの準備を進めています。

馬術競技については、県外の開催も視野に入れて検討していましたが、県馬術協会から提案のあった、勝浦市の民間施設である「ブルーベリーヒル勝浦」での開催について、勝浦市の了承が得られたため、現在、日本体育協会との手続きを進めており、今月中には正式決定される予定です。この結果、正式競技・公開競技39競技すべてが、県内30市2町で開催されます。

野球場の利点を生かした式典要望

西田 ゆめ半島千葉国体では、どのような開会式を実施しようと考えているのか。

性として

1 県民参加により記憶に残る感動的な式典

2 幕張新都心一帯を会場とみなして実施

3 野球場(千葉マリン)での開催を生かした式典を検討

4 簡素・効率化を図り、経

費を削減
――の基本的な考え方をまとめました。夢のある楽しい式典を考えており、今後はより具体的な内容を検討していきます。

要望 西田 野球場の利点を生かした開会式を検討願いたい。

第一次仮配宿を行い、21年度に第二次仮配宿、22年度に配宿センターを設置し、宿泊対策に万全を期するものです。

なお、宿泊施設の確保に当たっては、接遇面も含め、周辺市町や関係団体等の協

佐倉市特集・2月県議会予算委員会
県政をリード
文教のエキスパート

西田三十五県議

2月県議会自民党代表質問

2月定例県議会で最大会派自民党の代表質問に岡村泰明県議(四街道市選出・4期目)が登壇しました。

岡村県議は、財政問題、私学助成、医療の充実などを中心に質し、うち、乳幼児医療では、自民党が要望を続けてきた就学前までの通院助成は実現しましたが、なおの充実を求めました。

予算案については、「3年連続で多額の財源不足が続く」当初予算は異常な事態として知事を追及し、真の県民本位の予算のために、今後も厳しく監視を続けるとしました。

また、知事の政治姿勢では、空港戦略、道路特定財源をめぐる見解、知事のマニフェストについて質しました。

財源不足の当初予算を追及